



小・中学生英語サマーキャンプ

小学1年生から取り組む「英語活動」で学んだ英語を生活に取り入れ、英語を使う自信と積極的なコミュニケーションを図ることを目的に毎年開催しているこのキャンプ。10回目を迎えた今年、7月29日(水)～31日(金)に、入間市青少年活動センターで開催。参加した小・中学生26名は、語学指導助手や英語活動支援員らのアドバイスを受けながら、日常英会話のレッスンやキャンプファイアなどのイベントが詰まった3日間を英語だけで過ごしました。



最終日に子ども達は、インタビューやクイズの出題などを英語で披露し、英語で話すことに自信をつけました。

.....

長栄寺で「夏休み子どもお勤め会」



8月24日(月)から28日(金)の5日間、鶯ノ木の長栄寺で「夏休み子どもお勤め会」が開かれました。

これは、地域の子どもの健全育成を目的に行われているもので、一昨年から開催しています。

境内でラジオ体操を終えた子ども達は、本堂に入ると、最初に住職から正しい座り方と心を落ち着かせる呼吸の仕方を教わります。その後、住職とともにお経を唱えると、本堂内には読経の音が響き渡りました。最後に心を清め正しく生活するための説法を聞き、一日のお勤め会が終わります。

長かった夏休みの最後にお寺で体験した「お勤め会」。2学期を落ち着いた心で迎えられるために、気持ちを整えることができましたようです。

自分で作った、弁当の味は格別です

8月4日(火)／お弁当作り教室(奥富公民館)

野菜を切って煮たりゴマをまぶして魚を焼いたり。ごはんとおかずをていねいに詰めて、おいしいお弁当が完成。バランスのよい食事が体験できました。



ボウリングのことなら何でも聞いて

8月25日(火)～28日(金)／子どもボウリング教室(新狭山地内)



小学生10名が投球技術やスコアの付け方を学んだほか、ピンを並べる機械など、裏側を見学。今年も頼もしいちびっ子ボウリング博士が誕生しました。

26年度さやま市民大学ジャーナル学科修了生がお届けします

さやま・レポート(子育て◎)



狭山に産後ケアを広めるため、さやま市民大学「パパママのお助け隊養成学科」の修了生が立ち上げ、4月から本格的に活動を開始したのが「さやマーチ」です。

毎月1回、インストラクターの指導のもと、バランスボールを使った体操などで産後に低下しがちなお母さんの体力回復を図っています。体操以外にも、コミュニケーションワークや自宅で簡単にできるセルフケアなど約1時間半のプログラムが、産後ママを優しく楽しくサポート。ママ友との出会いと交流など、楽しいつながりの輪が広まりつつあります。

場所狭山元気プラザ 対象生後6か月以内の赤ちゃんと母親 定員15組 費用1,500円 保育7か月～未就学児(1人1,000円。予約が必要)
◆問合せ・申込み「さやマーチ」儀保麻衣子さん(9時～15時)へ ☎080-5223-8590

舞台効果の演出にチャレンジ

8月9日(日)／市民会館バックステージツアー

スタッフしか立ち入ることのできない場所に、この日だけは特別に潜入。スモークマシンを操作したり、場内へのアナウンスや舞台上の演技に合わせて照明を操作したりと、普段は経験できない貴重な体験に、子ども達は目を輝かせていました。



舞台を盛り上げる装置の操作に表情は真剣そのもの

「おいしくなあれ」と思いを込めて

8月19日(水)／オリジナルtea作り(水富公民館)

市の名産である「狭山茶」に、乾燥したりんごや柚子、オレンジなどの皮をブレンド。参加した小学生24名は、お茶を淹れたときの味や香りを思い描きながらオリジナルのお茶を作りました。自分で描いた絵を茶筒に張り、お茶を詰めたら完成です。



りんごの皮はお茶に甘い香りを足してくれます

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

災害に対する備えを再確認

8月29日(土)／総合防災訓練(南小学校ほか)

小雨のなか市内全域の会場で、各自治会を中心に約2,000人の市民などが参加し、安否確認や炊き出しなど数々の訓練を行いました。メイン会場では自衛隊なども参加し、本番さながらの救出訓練を披露。災害発生時の行動などを改めて学んだ一日でした。



メイン会場では、ガス管の復旧訓練なども行いました

平和の尊さを改めて実感しました

8月22日(土)／「かわいそうなぞう」を聞く会(狭山台公民館)

狭山市に住んでいた、故・土家由岐雄さんが書いた「かわいそうなぞう」の朗読会。戦争を理由に動物園の人気者の象が殺されてしまう悲しい物語に、会場はしんと静まり返り、110人の来場者の中には目を閉じてじっと聞き入る姿も見受けられました。



戦争を知らない世代に引き継ぎたい物語です